

平成28年4月19日  
 近畿総合通信局

「多言語音声翻訳システムの利活用実証に係る実施団体」公募の結果

総務省は、平成28年度に実施する「多言語音声翻訳システムの利活用実証に係る実施団体」の公募の結果、近畿総合通信局（局長：関 啓一郎（せき けいいちろう））管内から応募があった京都府舞鶴市及び京都府京都市の2団体を選定しましたのでお知らせします。

総務省は、「グローバルコミュニケーション計画」の一環として、あらゆる人にとって使いやすい多言語音声翻訳システムの実現に向けて、地域における利活用実証を実施することとし、実施団体の公募を平成28年1月21日（木）から同年3月4日（金）まで行いました。応募があった提案については外部評価を実施し、その結果を踏まえてこのほど実施団体として6団体を選定しました。

近畿総合通信局（局長：関 啓一郎（せき けいいちろう））管内では、下記のとおり京都府舞鶴市及び京都府京都市の2団体を選定されましたので、お知らせいたします。

記

平成28年度「多言語音声翻訳システムの利活用実証に係る実施団体」選定結果（近畿管内）

No.	コンセプト	実施団体 ※代表責任者の所属機関名は太字下線
1	外航クルーズの寄港による外国人旅行者の来訪等、国籍・目的共に多様化する当地状況において、観光案内時や接客時における言語による壁を可能な限り取り除き、これまでの看板やパンフレットの配布などの一方向のコミュニケーションから会話を介する双方向のコミュニケーションの実現を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>舞鶴市</b></li> <li>・ クルーズ客船おもてなし関係者連絡会議</li> <li>・ 一般社団法人舞鶴観光協会</li> <li>・ 道の駅「舞鶴港とれとれセンター」</li> </ul>
2	京都・嵯峨嵐山地域におけるグローバルコミュニケーションの実現に向けて ～おもてなし力の向上と消費意欲を商店街へ～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>京都市</b></li> <li>・ 嵯峨嵐山おもてなしビジョン推進協議会</li> <li>・ 株式会社京都銀行</li> <li>・ 京福電気鉄道株式会社</li> </ul>

（応募書類先着順）

(参考：総務省報道資料)

「多言語音声翻訳システムの利活用実証に係る実施団体」公募の結果

[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01tsushin03\\_02000165.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000165.html)

連絡先

情報通信部 情報通信連携推進課

(担当：青野、岩本)

電話：06-6942-8623